

医療連携だより

年度はじめのご挨拶



新型コロナの発生から3年数カ月が経ち、やっとコロナ感染者数が減少して経済活動の回復傾向も見られてきているようです。何となくではありますがコロナ禍からは少しだけ抜け出しつつあるかなという希望的観測を持ちたいこの頃です。5月から予定されている感染症法上の2類から5類への移行は世間的には好意的に受け取られているかもしれませんが、医療に携わる者にとってはむしろ混乱が生じないかと不安な面もあります。医療現場の中にいる我々は世の中の動きを見ながら周りの施設と連携してゆっくり体制の変更を考えていきたいと考えております。

さて、奥州市は昨年より地域医療の奥州市モデルという計画を市民に対して表明していますが、その中で新病院建設について、地域医療の連携拠点としてだけでなく周産期・子育て支援センターとしての機能も備えた複合型施設とすることも提案しています。今後10年20年先の将来を見据えた医療・福祉関連政策として市民の皆さまから大きな期待が寄せられる計画であると思います。我々は市の医療施設としてのその壮大な計画が少しでも順調に進むことが出来るよう、この圏域における我々の役割をしっかりと果たしていこうと考えておりますので、今後ともご指導ご鞭撻およびご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

院長・医療連携室長 菊池 淳

市民の健康を支える面倒見のいい病院

運営方針

急性期から回復期・在宅医療まで、全人的な医療を提供します
地域の医療・保健・福祉等と連携した医療を行います
患者さんの視点に立った、安心安全な医療を行います
医療水準の向上と人間性豊かな人材の育成に努めます
全職員がやりがいを持って働ける職場作りに努めます
病院改革プラン等のもと病院経営の健全化に努めます

2022年6月 改定

奥州市産後ケア事業

おひさま



当院の産後ケア事業は奥州市から委託を受け平成30年12月に開設しました。開始当初は、宿泊ケア、日帰りを行い、事業が定着してきたところで新型コロナウイルスが発生し、やむを得ず中止している状況でした。しかし、コロナ禍だからこそ産後ケア事業が重要であり、事業を止めない方針とし、令和4年12月より日帰りケアのみ再開しています。

利用時助産師とどのように過ごしたいか面談を行い、授乳指導・育児相談・産後の母体管理など利用者の心配事に耳を傾け対応しています。また、ゆっくりお風呂に入りたい、休みたいという方には、状況により児を預かりゆっくりお昼寝をして頂いています。産後ケア利用後のアンケートでは「ゆっくり過ごせてよかった、授乳や児との接し方が分かり安心した」という言葉が多く聞かれています。リピート率も高く、現在ではほぼ毎日予約が入っています。今後は宿泊ケアの再開を目指し体制を整えていきたいと考えています。

- 1 目的…母親の身体的回復と心理的な安定を図るとともに、母親自身のセルフケア能力を育み、母子の愛着形成を促し、母子とその家族が健やかな育児ができるよう支援すること
- 2 対象者…奥州市に住所を有する原則産後4か月までのお母さんと赤ちゃん。ただし、病院等で行う医療的な処置が必要でない方
- 3 事業内容…日帰りケア ※現在はコロナ禍対応として、一日1組のみの利用
月～金曜日 9:00～16:00
【内容】①お母さんの心と体のケア
②お子さんのケア
③育児のサポート
- 4 利用料…無料（別に食費640円を頂戴します）
- 5 申込み先…利用希望日の1週間前までに奥州市健康増進課または各総合支所へ申請書を提出してください



ゆっくり過ごして
くださいね



詳しくは

奥州市 産後ケア



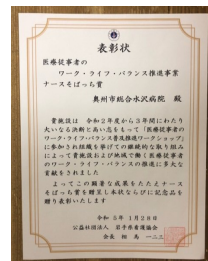
で検索！

岩手県看護協会より

ナースそばっち賞を受賞

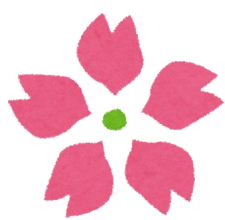
当院のWLB推進チームが、「医療従事者のワーク・ライフ・バランス推進事業ナースそばっち賞」を受賞しました。

令和2年から3年間にわたり、病院のミッション、ビジョンの共有や超過勤務に対する取り組みなど、職員アンケートをもとに5つのプランを立てて取り組んできた成果が評価されたものです。

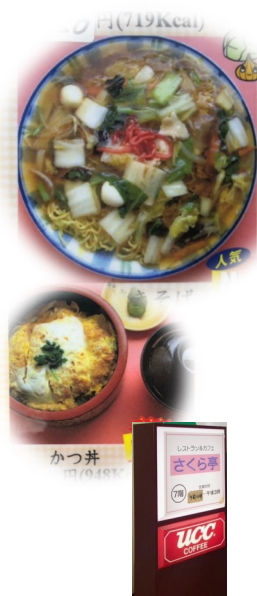
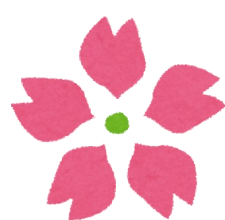


チーム員より一言

勤務環境改善に真摯に取り組むことで、職員が意欲と能力を発揮し病院の成長に繋げる事ができると考え、岩手県看護協会主催のWLB推進ワークショップに参加し3年間取り組みました。プランに取り組む中で各職種が相互理解でき職場の連携がスムーズになりました。今後も継続し取り組みます。



レストラン さくら亭



当院の最上階（7階）にある隠れた名店です。
毎日注文されないメニューがないくらい、どれも美味しいのですが、中でも日替わりランチ（580円）と北京焼きそば（680円）が人気です。店内からの眺望の良さがさらに美味しさを引き立ててくれます。

今まではコロナ禍のため、入館に制限がありましたが、現在はお食事のためだけに入館していただくことも可能です。

お近くにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください！



【発熱外来】ナビダイヤルのご案内

代表電話が繋がりにくい状況が続いており、皆様には大変ご迷惑をおかけしておりました。このたび発熱外来専用の番号が出来ました。発熱や風邪症状がある場合は下記へご連絡ください。

057-088-3833

 (平日8:30~15:00)

※上記以外の時間は、代表0197-25-3833へご連絡ください。



令和5年度

医療連携室スタッフ紹介

ご紹介や受診の相談、受託検査をはじめ、入院前支援、入院中の支援、退院後の相談や精神科デイケアなど、少数精鋭で幅広く対応しております。
今年度もよろしくお願いいたします。

【メンバー】

室長（院長） 菊池
室長補佐（MSW） 菅原
MSW 小原
MSW 菅原
退院支援看護師 岩淵
入院前支援看護師 阿部
医療社会事業士 青木



奥州市総合水沢病院 医療連携室

〒023-0053

岩手県奥州市水沢大手町三丁目1番地

電話 0197-25-3833（内線257）

FAX 0197-25-4012（医療連携室直通）

ホームページ <http://www.mizhsp-iwate.jp>



当院ホームページはこちらから↑

【おねがい】

○医療機関からご紹介いただく場合は、FAXによる診療申込をお勧めしております。

○当日ご紹介の際は、直接診療科の医師へご一報ください。

**患者様がスムーズに診察を受けていただくため、
ご協力をおねがいいたします。**